

3 富山銀行のSDGs

「がんばろう 北陸地方！」 全行を挙げて震災の復旧・復興支援を展開

日本赤十字社を通じて寄付を実施

能登半島地震により被害を受けられた被災者の皆さまへの支援と、被災地の復旧・復興にお役立ていただくため、当行は日本赤十字社を通じて総額4,000万円（富山県・石川県に各2,000万円）の寄付を行いました。

被災された皆さまの安全と被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

ESG関連投資信託を通じ、富山県へ寄付を実施

投資信託委託会社が当行の販売残高に応じて富山県へ寄付を行う投資信託商品「グローバルESGバランスファンド（愛称：ブルーアース）」の取扱いを通じて、野村アセットマネジメント株式会社より、富山県へ寄付を行いました。

被災地支援ボランティア「炊き出し準備調理作業」に参加

一般社団法人ボディセンス・インスティテュートが主催する「能登半島地震被災地への炊き出し準備調理作業」に有志行員が参加しました。



データ復旧サービスの無償支援

データ復旧専門会社であるデジタルデータソリューション株式会社と共催で、無償によるデータ復旧サービス支援を実施しました。

当日は、被災された企業6社の計13台のパソコンやHDDが持ち込まれ、エンジニアがデータの復旧作業に対応しました。



被災地の復旧・復興支援に対し、地域商社機能によるソリューションを提供

災害支援物資の情報仲介を実施

被災者支援を希望された株式会社JPホールディングス（本社：愛知県）と被災地の地元企業として復興支援を行う三谷産業株式会社（本社：石川県）を取り次ぎ、子ども用衣料品や子ども靴などの災害支援物資の情報仲介を実施しました。

復旧・復興・面的再生への貢献



融資など金融機能による支援



公的助成サポート



データ復旧支援



企業版ふるさと納税



再就職支援

企業版ふるさと納税「BANKER'S Choice」を活用

当行は地方創生を目的として、企業版ふるさと納税のマッチング事業を行っております。

また、本制度を活用し、震災被災地に対する「令和6年1月能登半島地震復旧・復興支援」を目的とした寄付をご提案しております。



3 地域企業との連携によるSDGs推進

地域企業と相互に緊密な連携と協力を図り、当行が持つ「知見」「情報」「ネットワーク」「資金」などの経営資源を活用し、地域が抱える課題やニーズに対応することで、持続可能なまちづくりと新たなイノベーション創出を支援



「TOYAMA SDGs AWARD 2023」を開催

- ・SDGsに資する取組みの表彰・褒章事業は、金融機関では全国で初めての取組み
 - ・当行本店が所在する高岡市がSDGsに関連した様々な催しを行っている
- 「たかおか SDGs DAYS」と連携することで、より効果的なプロモーションを推進



グランプリ 有限会社八尾興業

－事業の概要－

「サステイナブルな防草緑化技術で地域課題を解決」



準グランプリ 株式会社北陸園芸

－事業の概要－

「地域の資源や里山を活かした森林共生型アスレチック施設」



準グランプリ 特定非営利活動法人綴る

－事業の概要－

「空き家をコワーキングスペースなどの共同利用できる空間として活用」

3 地域企業との連携によるSDGs推進

当行商品やサービスの取扱いを通じて、地域が抱える課題解決を行うことで、持続可能な地域社会創造に貢献

SDGsに対する取組みサポート

「SDGs宣言書」の策定支援を通して、地域企業のSDGsに対する取組みをサポート

SDGs宣言書

有限会社 昭信機工

脱炭素化・リサイクルを課題とし、地域社会への環境配慮をテーマに新たな時代での飛躍・挑戦を続けたい。

当社は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、後述の取組みを含む社内外に好循環を生み出す取組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2023年8月4日
有限会社 昭信機工
代表取締役 長谷 孝

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
環境	環境負荷軽減 循環型社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 解体事業で発生する産業廃棄物の適正処理、分別解体を徹底することで発生するCO2削減に努めます。 廃棄物・資源を分別し、適切な処理・処分を行います。 廃棄物・資源を分別し、適切な処理・処分を行います。 新事業・企画活動においては、解体作業発生した材料を再利用し、CO2削減と循環型社会を実現いたします。 	12, 13, 14, 15
地域貢献	地域との共存共栄	<ul style="list-style-type: none"> 2023年12月より国土形建設事業を始める。地域住民のニーズに合わせた事業展開。また、地域の活性化に貢献し、地域を創出、自立と発展させ、安心な暮らしを実現します。 脱炭素化とリサイクルを課題とし、地域社会への環境配慮をテーマに新たな時代での飛躍・挑戦を続けたい。 地域内外への活動への協力と連携を通じて、地域振興の活性化に貢献していきます。 地域内外への活動への協力と連携を通じて、地域振興の活性化に貢献していきます。 	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11
人権 労働	いきいきと働きやすい職場	<ul style="list-style-type: none"> 人権、性別、年齢、国籍等を問わず、多様な人材の活躍に力を入れ、それぞれの能力が発揮できる職場を目指します。 多様な人材の活躍に力を入れ、それぞれの能力が発揮できる職場を目指します。 多様な人材の活躍に力を入れ、それぞれの能力が発揮できる職場を目指します。 多様な人材の活躍に力を入れ、それぞれの能力が発揮できる職場を目指します。 	5, 8, 9, 10
製品 サービス	高品質の追求	<ul style="list-style-type: none"> 解体工事を通じて産業廃棄物の中間処理を行うことで、自社で発生したCO2削減に努めます。 解体工事を通じて産業廃棄物の中間処理を行うことで、自社で発生したCO2削減に努めます。 解体工事を通じて産業廃棄物の中間処理を行うことで、自社で発生したCO2削減に努めます。 解体工事を通じて産業廃棄物の中間処理を行うことで、自社で発生したCO2削減に努めます。 	12, 13, 14, 15

SDGsとは
「持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）」の略称で、2015年9月の国連サミットで加盟国が全会一致で採択された、2030年までに持続可能な未来に向けた世界的な開発目標です。17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展と公正の両方から、先進国自身が取りこぼすこと（バックレ）を避けるためであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SDGs宣言書

株式会社 浦沢興業

確かな安全をお届けするために職人の技術を高め、持続的な成長と事業の拡大を目指すとともにお客様と社員が誇りと喜びを共創できる足場作りを目指します。

当社は、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、後述の取組みを含む社内外に好循環を生み出す取組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2023年11月10日
株式会社 浦沢興業
代表取締役 浦沢 正樹

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
環境	環境負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> 目標：事業活動を通じた環境負荷軽減 建設現場で発生する産業廃棄物を細かく分別し、再資源化率向上を図る。 省エネ設備（LED照明）、低排出ガス建機の導入 事業場内と施工現場において、水資源の適切な利用。排水の適切な処理など持続可能な水資源管理に取り組む。 	12, 13, 14, 15
製品・サービス	確かな品質	<ul style="list-style-type: none"> 目標：品質・安全性の確保 自社製品・サービスの品質・安全性を確保し、顧客満足度を追求する。 自社製品の安全方針・組織体制の明確化 チーム内における技術力の磨き 社員間が技術向上のため研鑽実施 	9, 11, 12, 13
人権・労働	多様な人材が働きやすい職場へ	<ul style="list-style-type: none"> 目標：誰もが働きやすい職場へ 多様な人材の活躍に力を入れ、それぞれの能力が発揮できる職場を目指します。 技術実習生制度の積極活用による外国人労働者の採用 採用 経営者・従業員間の連携・相談窓口の整備 健康診断受診時のフォロー、従業員の健康課題にもとづき、健康改善に向けた取組を継続的に実行。 	5, 8, 9, 10

SDGsとは
「持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）」の略称で、2015年9月の国連サミットで加盟国が全会一致で採択された、2030年までに持続可能な未来に向けた世界的な開発目標です。17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展と公正の両方から、先進国自身が取りこぼすこと（バックレ）を避けるためであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

「富山銀行SDGs私募債」の取扱い

私募債発行企業さまから受取る手数料の一部を、地元教育機関等へ寄贈することにより、地域のSDGs推進を支援

SDGs私募債受託件数

- 2022年度 15件 寄付額 1.8百万円
- 2023年度 15件 寄付額 1.2百万円

「富山銀行SDGs私募債」寄贈式の模様



タイムリーで質の高い情報を発信し、お客さまの持続可能な発展を支援

「開業医のためのウェルスマネジメントセミナー」



富山県保険医協会の方々を対象に、生前贈与や医業承継、インフレ下における資産運用の必要性などを解説しました。

「事業承継とファミリービジネスを考察するセミナー」



事業承継の成功事例や失敗事例、事業承継対策の重要性などについて解説しました。

『富山の「食」のブランディングに向けて』を発行～政府系金融機関との連携により、地元富山の食の魅力を発信～

富山の「食」のブランディングに向けて

～料理人や生産者を通じて見出される地域の魅力～

2024年4月

協力:  富山銀行

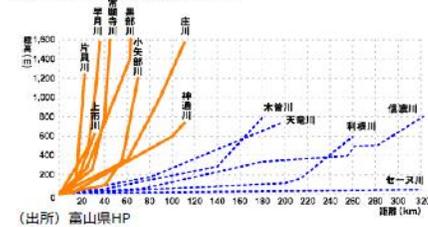
 株式会社日本政策投資銀行
富山事務所

 株式会社 日本経済研究所
Japan Economic Research Institute Inc.

第2章 文献調査：地域特性（富山の水）

- 富山県には5つの1級河川を含む大小310以上の川が流れているが、代表的な県内河川と全国各地の大河川を比べると、勾配が急激で、海外の大河とは比較にならないほどの急流である。中でも立山連峰に源を発する常願寺川は源流から河口まで約56kmであるが、日本一長いとされる信濃川の約1/6の距離で標高差約3,000メートルを一気に流れ下る、世界でも有数の急流河川である（図表18）。
- 急流ゆえに降った雨はすぐに海へ流出するが、これは川にとっては途中で汚染される間がなく、酸素による新陳代謝も活発で、水は常にきれいな状態であることを意味する（図表19）。
- 環境省が昭和60年に選定した「名水百選」と平成20年に選定した「平成の名水百選」に、富山県からはそれぞれ4か所ずつ、合わせて8か所の名水が選ばれている。これは熊本県と並び全国最多である。
- 古くから県内各地に蔵があり、日本酒が製造されている（図表20）。

図表18：河川縦断概略図



図表19：富山県内の主な名水

所在	名水百選（平成の名水百選も同じ）
富山市	いたち川の水辺と清水
高岡市	弓の清水
滑川市	行田の沢清水
南砺市	不動滝の霊水

（出所）富山県HP

図表20：富山県内の主な地酒マップ



（出所）富山県酒造組合

17

株式会社日本政策投資銀行と共同で、富山の「食」に関する調査・分析を行い、『富山の「食」のブランディングに向けて～料理人や生産者を通じて見出される地域の魅力』と題したレポートを発行しました。

レポートのまとめには、「食」のブランディングに向けて重要と考えられる、「食材・生産者」、「シェア・料理人」、「地域特性の各要素」について、富山県の優位性や課題を確認し、「食」を通じた関係人口拡大に向けたブランディングの方策や今後必要となる取組みについて考察しました。

3 次世代を担う人財育成への取組み

SDGs目標「質の高い教育をみんなに」をテーマとして、次世代を担う人財への金融経済教育や夢を育むイベントを実施

夏休み「銀行探検隊」の開催



夢作文 学校賞副賞

「富山グラウジーズバスケットボール教室」



「包括的連携協力に関する覚書」に基づく 地元の大学に対する寄附講義の開講



「社会に学ぶ14歳の挑戦」の受け入れ



富山大学講義「アカデミック・デザイン」



3 個性を発揮できる職場環境への取り組み

全役職員一人ひとりが個性を発揮できる職場環境をつくり、「人財価値の向上」を目指す

プロフェッショナル人材の採用

課題解決に向けプロフェッショナル人材の中途採用を積極的に実施

<全行員に占める割合>

2022年3月末：9% ⇒ (目標) 2030年：18%

ダイバーシティ & インクルージョンの更なる推進強化

女性支店長の積極登用などダイバーシティ推進

<総合職の女性人数>：2025年3月末には、2022年3月末対比で50%増加を目指す
育児休業取得率100%を目標とした「女性活躍推進法に基づく第Ⅲ期行動計画」を策定

「アスリート採用」の継続

地域のプロスポーツチームやスポーツ関連企業との連携を企図し、地域におけるアスリートの発掘や本人のデュアルキャリア（競技と仕事の両立）の充実をサポート

地域社会の一員として、全役職員を挙げて社会貢献につながる行事への参加やボランティア清掃活動を実施

「アイシティecoプロジェクト」



使い捨てコンタクトレンズの空ケースリサイクル運動「アイシティecoプロジェクト」への参加

自然環境保全活動



「富山県自然博物館ねいの里」にて、新入行員を中心とした自然環境保全ボランティアを実施

全店一斉ボランティア清掃活動



7月～8月の期間を「ボランティア月間」とし、各店ごとにボランティア清掃を実施

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」
 提言への賛同を表明

TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）

金融市場安定化の観点から、2015年に金融安定理事会（FSB）の下に設置された企業の気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する作業部会。各企業が気候関連のリスクと機会を評価し、経営戦略・リスク管理へ反映するとともに、財務上の影響を把握・開示することを推奨している。

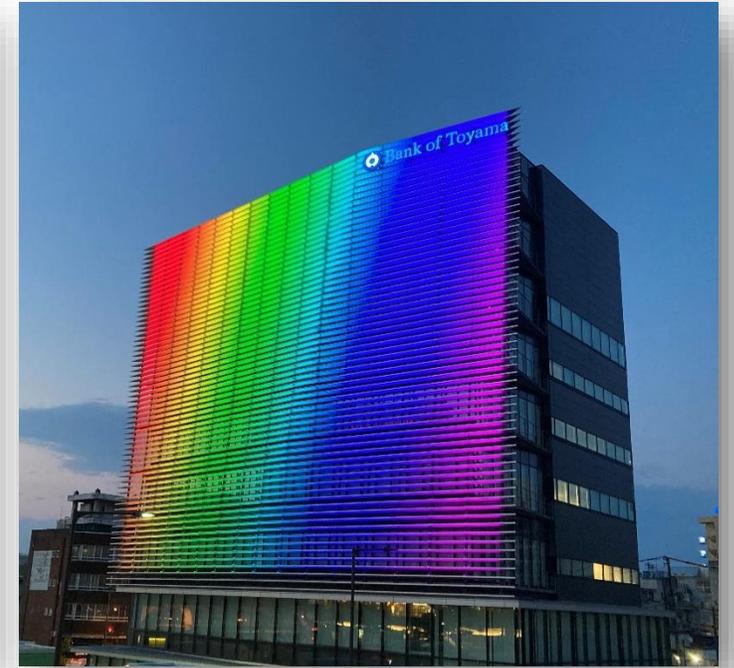
本店ビルのライトアップにより、地元高岡市の賑わい演出とSDGsを発信



女性に対する暴力をなくす運動に合わせ、
パープルにライトアップ



オレンジライトアップにより、
「世界アルツハイマーデー」に賛意を表明



「たかおか SDGs DAYS」に合わせ、
レインボーカラーにライトアップ